

## 富士山の火山活動解説資料(平成 27 年 12 月)

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部(富士山の南部付近)で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

噴火予報(噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意)の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況(図 1)

萩原遠望カメラ(富士山山頂の東南東約 18km)、中部地方整備局が朝霧(富士山山頂の西約 14km)及び富士砂防事務所(富士山山頂の南西約 17km)に設置しているカメラによる観測では、今期間、噴気は認められません。

#### ・地震や微動の発生状況(図 2、図 3)

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部(富士山の南部付近)で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。

深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況で経過しています。

火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況(図 4、図 5)

GNSS<sup>注)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 富士山 山頂部の状況  
(12 月 20 日 萩原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 28 年 1 月分)は平成 28 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平 26 情使、第 578 号)。

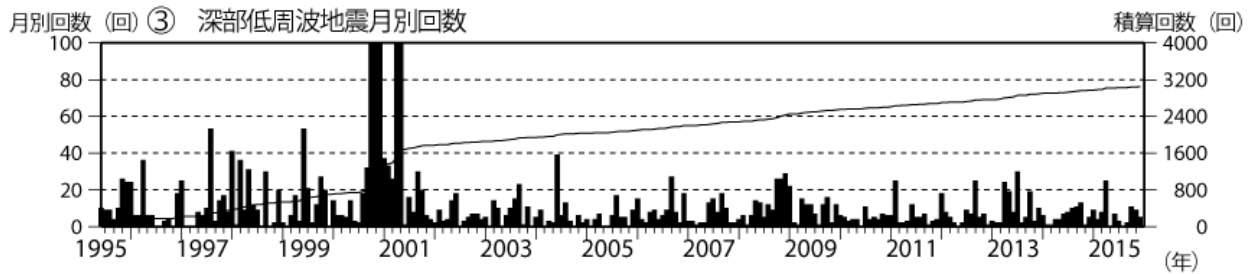
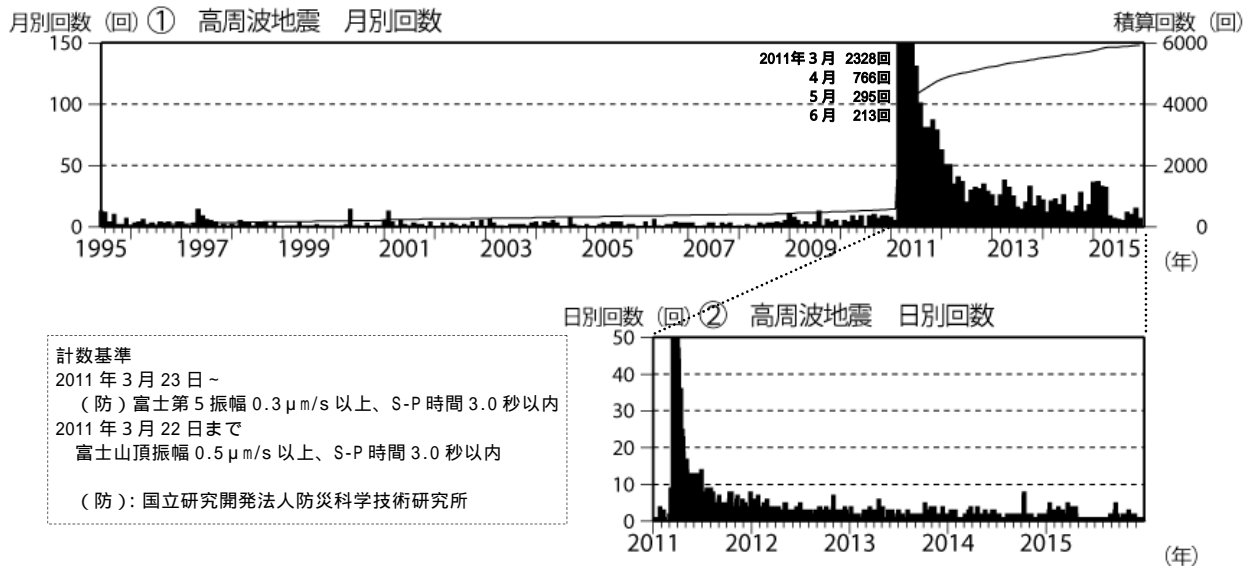


図2 富士山 月別及び日別地震回数 (1995年6月1日～2015年12月31日)

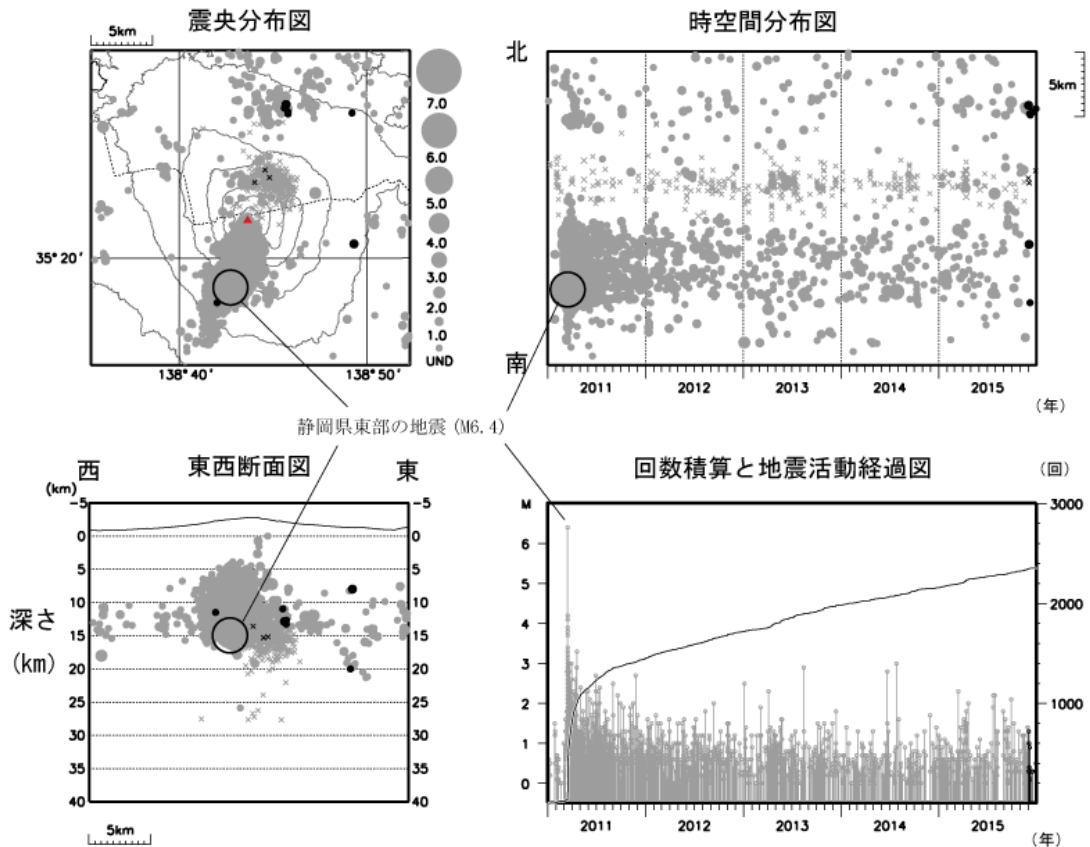


図3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2011年1月1日～2015年12月31日)  
 : 2011年1月1日～2015年11月30日 : 2015年12月1日～12月31日  
 ×は深部低周波地震を表します。M (マグニチュード) は地震の規模を表します。  
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

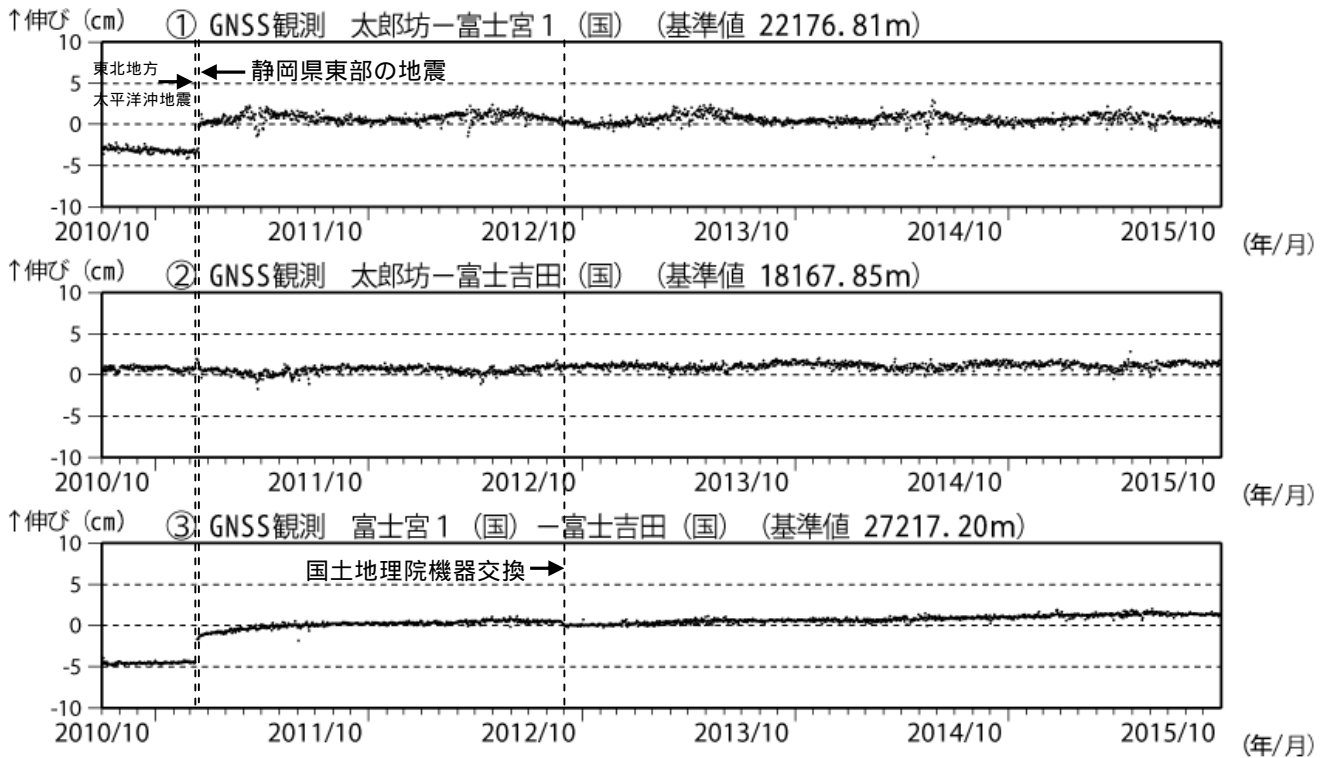


図4 富士山 GNSS連続観測による基線長変化(2010年10月1日~2015年12月31日)  
(国): 国土地理院

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震、及び2011年3月15日に発生した静岡県東部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。

~ は図5のGNSS基線 ~ に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

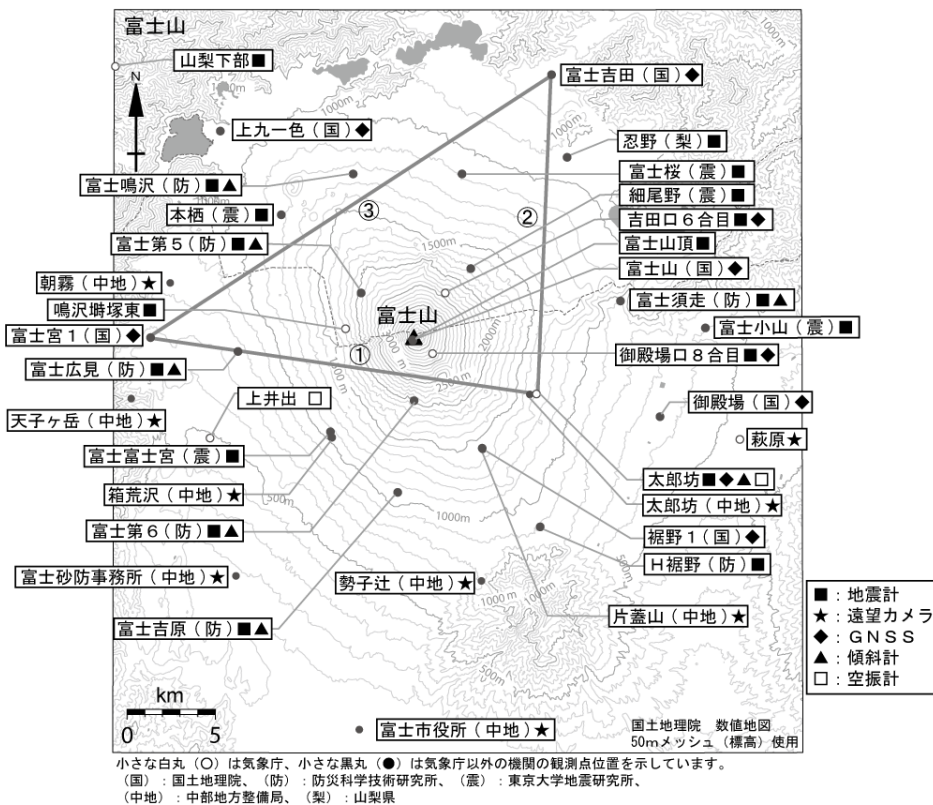


図5 富士山 観測点配置図

GNSS基線 ~ は図4の ~ に対応しています。